

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認に関する面談」
2. 日時：令和4年9月22日(木) 13時40分～15時25分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、瀬戸川安全審査専門職  
日本原燃株式会社  
決得 執行役員 再処理事業部副事業部長(設工認総括、新基準設計)  
他1名

5. 要旨

本年9月15日の日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)決得執行役員との面談を踏まえて、再処理施設の設計及び工事の計画の認可の次回以降の申請の審査を合理的に進めるための代表的な設備の選定方法について、意見交換を行ったところ、長谷川安全規制管理官と決得執行役員との間で代表的な設備の選定方法の考え方に差があったため、まずは基本的な事例を挙げ認識の共有を行った。

今回の面談では、今回共通認識が図られたと考えられる部分について確認を行うため、具体的な代表設備を例示し、意見交換を行うこととなった。

6. その他

提出資料

「設計プロセスによる類型化の考え方」

参考

- ・ 令和4年9月15日 日本原燃(株)再処理施設の設工認に関する面談  
<https://www2.nra.go.jp/data/000404571.pdf>